

# ユーザーガイド

## Profoto D2

他の言語については次の URL にアクセスしてください。  
[www.profoto.com](http://www.profoto.com)





## Profoto (プロフォト) 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

新しいフラッシュやライトシェーピングツールを含む弊社の製品には、ほぼ半世紀に及ぶノウハウが蓄積されています。

長らく弊社が重視してきたのは、わずかな細部にもこだわるということです。弊社では、完全に信頼できる製品にのみ弊社のブランド名を冠しています。各製品は出荷前に、多岐にわたる徹底的な検査を受けており、一定水準の性能、品質、および安全性に適合していない製品は出荷されません。

こうして出荷されたProfoto (プロフォト) 製品は、お客様を長期的に支援できると確信しています。製品の購入は始まりにすぎません。ライティングには多様な創意工夫が伴いますが、弊社では、あらゆるライティング方法と幅広いライトシェーピングツールを提供できることを誇りにしております。

ライティングの可能性は無限です。最初は戸惑うかもしれませんが、すぐにコツを掴めるでしょう。

それでも私は、お客様に [www.profoto.com/newsletter](http://www.profoto.com/newsletter) で当社のニュースレターにサインアップするか、または [www.profoto.com/blog](http://www.profoto.com/blog) から当社のブログにアクセスすることをお勧めします。そうすることにより、50年近くのライトシェーピングの当社の経験を共有でき、更なる成長に向けてお客様を後押しできると考えています。Profoto (プロフォト) 製品をぜひご活用ください!

Conny Dufgran (創業者)

# 安全に関する一般的な注意事項



## 安全に関する注意事項!

製品を使用する前に、取扱説明書および安全のための注意事項をよくお読みください。本書は必ず製品と共に保管してください。Profoto (プロフォト) 製品はプロの使用を想定して設計されています。ジェネレーター、ランプヘッド、アクセサリ類は屋内での撮影以外に使用しないでください。湿気、強い電磁場、可燃性ガスや粉塵が存在する環境では、製品の保管や使用を避けてください。製品を水没させたり、水滴のかかる場所で使用したりしないでください。花瓶など、水の入った容器を装置の上や近くに置かないでください。湿度の高い環境下では、極端な温度変化を避けてください。製品内部に結露が生じる可能性があります。本製品を他社製ストロボやスタジオライトに接続しないでください。付属の保護用ガラスカバーまたは保護用グリッドがない状態でフラッシュヘッドを使用しないでください。ガラスカバーにひび割れや深い傷など、目に見える破損があり通常の効果が得られない状態になっている場合は使用せず正常なものと交換してください。ランプが損傷したり熱で変形した場合は交換してください。ランプをホルダーに取り付ける際は絶対に素手で電球を触らないよう注意してください。装置の点検、改造、修理は、認定された資格を有する要員のみが行う必要があります。警告 - フラッシュシンボルが表示された端末は危険です。



## 警告 — 感電の危険があります — 高電圧!

主電源給電のジェネレーターは、常に保護アース接続のある電源コンセントに接続されていなくてはなりません。Profoto (プロフォト) 製の延長コード以外は使用しないでください! ジェネレーターやランプヘッドの蓋を開けたり、分解したりしないでください! 製品は高電圧で動作します。ジェネレーターのコンデンサーは、電源を切った後も長時間帯電し続けます。アンブレラの金属製のシャフトをリフレクターの穴に差し込む際はモデリングランプやフラッシュチューブに触れないよう注意してください。



## 注意 — やけどの危険 — 高温部品

装置の高温になっている部分には素手で触れないでください。モデリングランプ、フラッシュチューブ、その他いくつかの金属の部品は使用中に高温を発生します! ランプはすべてごまめに破裂し、高温の破片が飛び散ることがあります! モデリングランプの定格電圧が、ユーザーガイドのテクニカルデータの電源の欄に記載されている定格電圧に合致していることを必ず確認してください!



## 警告 - 騒音

突然騒音が発生する可能性があります。防音保護具を使用し、発電機がユーザーや周囲の方から45cm (18インチ) 以上離れていることを確認してください。

## NOTICE

## 注意 — 装置の過熱の危険性

ランプヘッドの持ち運び用キャップは使用前に外してください! フィルターや拡散性の物質などを装置の吸気口や排気口の前に置いて通気を妨げたり、ガラスカバーやモデリングランプ、フラッシュチューブの上 directly それらの物を置かないでください。

## RFに関する注意事項!



本製品は無線通信時に特定の無線周波帯を使用します。本製品を照明セットで使用する場合は、適切な注意が必要です。本書に記載された仕様、特に動作温度と供給電圧範囲に関する仕様には必ず従ってください。本製品が使用する周波数帯は他の装置も使用します。干渉は除外できません。

## 最終廃棄処分

本製品は環境に有害な電気・電子部品を含んでいます。Profoto (プロフォト) 販売店にご返却いただければ、WEEE 指令に従って無料でリサイクルできます。廃棄の際は、廃棄物の個別処分に関する現地の法的要件 (例えばヨーロッパ市場における電気・電子器具処分の WEEE 指令) を遵守してください。

# 目次

安全に関する一般的な注意事項	4
各部名称	7
操作	10
クイックガイド	10
メインメニュー	10
設定の変更	11
電源	12
電源オン	12
電源オフ	12
光量の出力(エネルギーレベル)	13
モデリングライト	13
同期	13
チャージ完了インジケータ:	16
Normal(通常)/Freeze(フリーズ)モード	17
誤った露出のアラーム	17
クイックバースト	17
充電完了ランプ/テスト機能	18
特別設定	18
自動安全機能	19
取扱い	20
スタンドの取り付け	20
Profotoライトシェーピングツールの取り付け	20
フロントガラスプレートの交換	21
フラッシュチューブおよび/またはモデリングランプの交換	21
内蔵フューズの交換	23
追加情報	24
HSS	24
TTL	24
色温度	25
USBポート	25
ファームウェアのアップグレード	25
技術仕様	26
保証	28
規制情報	29



# 各部名称

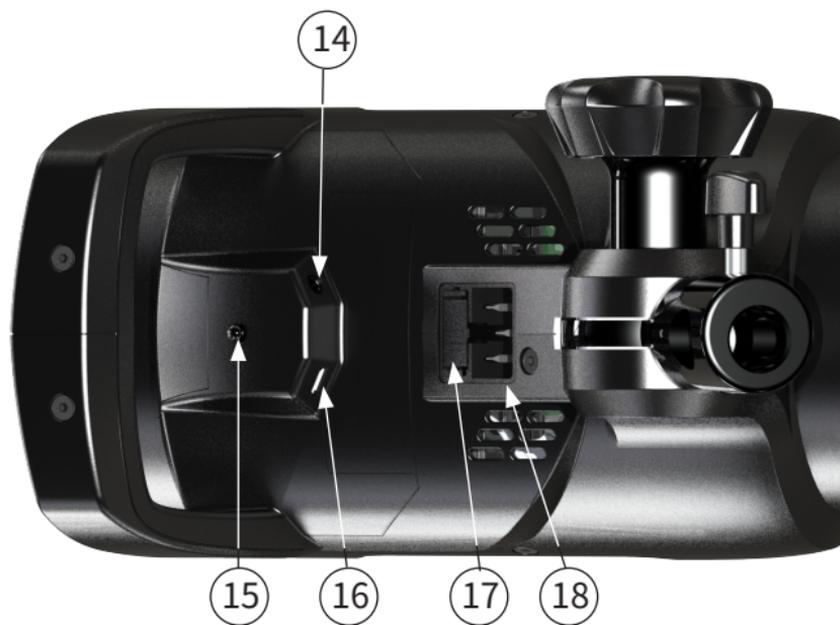


- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 1. ディスプレイ   | 5. ダイアル              |
| 2. モデリングボタン | 6. SETTINGS (設定) ボタン |
| 3. 電源インジケータ | 7. テストボタンと充電完了ランプ    |
| 4. ON ボタン   |                      |



- 8. アンブレラホルダー
- 9. ズームスケール
- 10. フロントガラスプレート

- 11. チルトロックノブ
- 12. スタンドアダプター
- 13. クランプねじ



14. シンクロコネクター

15. IRスレイブ／フォトセル

16. Micro USBポート

17. フューズホルダー

18. 電源(AC)コネクター

## 操作

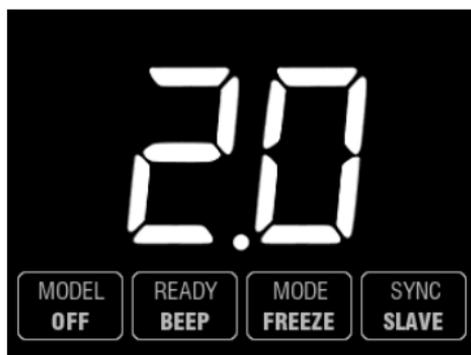
### クイックガイド

詳しい操作の指示は、以下のセクションを参照してください。

1. スタンドアダプター[12]をライトスタンドに適合させ、クランプねじ[13]で固定してください。
2. チルトロックノブ[11]を緩めて、D2ユニットのチルトポジションを調整します。
3. 電源ケーブルを電源入力[18]に接続し、次にAC主電源に接続します。
4. ON/OFFボタン[4]を押します。
5. ダイヤル[5]を使用することにより、フラッシュライトを設定するか、またはオプションのProfoto Air Remote TTLを使用して、出力を設定します。
6. テストボタン[7]を押すことにより、テストのフラッシュを発光します。
7. SETTINGS (設定) ボタン[6]とダイヤル[5]を使用することにより、設定を変更します。

### メインメニュー

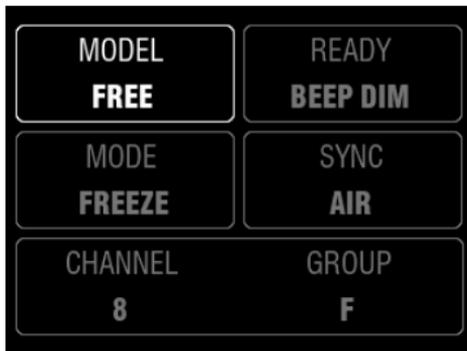
ディスプレイ[1]は、最新の設定のメインメニューを示しています。



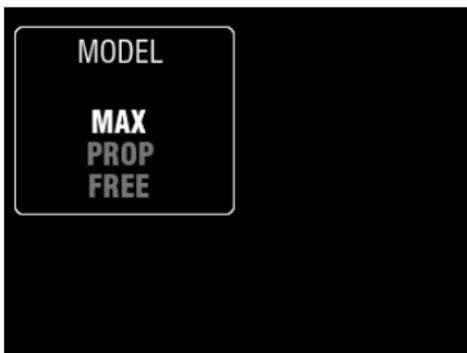
## 設定の変更

各種設定に関する詳細は、後続のセクションを参照してください。

1. SETTINGS (設定) ボタン[6]を押して、設定メニューを表示します。



2. ダイヤル[5]を回して、変更する設定を選択します。
3. ダイヤル[5]を押したままにして、選択した設定に利用できるオプションを表示します。



4. ダイヤル[5]を押したまま、ダイヤル[5]を回して、設定のオプションを変更します。
5. ダイヤル[5]を離して、現在ハイライト表示されている設定のオプションを選択します。
6. SETTINGS (設定) ボタン[6]を押して、メインメニューに戻ります。ディスプレイは、数秒後に自動的にメインメニューに戻ります。

## 電源

D2ユニットは50～60Hzの100～120VACまたは200～240VACの電源に接続できます。ユニットを電源に接続すると自動的に電圧および周波数を検出して適応します。電源フューズは、技術データセクションで指定されている規格より小さいものを使用しないでください。

800W以上の安定した電力を供給するほとんどのガス発電機は、D2ユニットの電源として使用できます。Profoto ProGasユニットは必要ありません。

### 警告

主要ケーブルとプラグは、主電源から接続を切る装置として機能します。装置の使用を終えたら、ケーブルではなくプラグを引き抜いて、常にコンセントから取り外してください。

電源ケーブルを延長する際は、家庭用の延長コードは絶対に使用しないでください。過熱することがあり危険です。使用の前に必ず延長コード巻き取り機のコードを完全に伸ばしてください。適切な装置を確認するにはProfotoのディーラーに連絡してください。

## 電源オン

1. 同梱の電源ケーブルを電源入力[18]に接続し、次にAC主電源に接続します。電源インジケータ[3]は、赤色になり、D2ユニットが電源に接続されていることを示します。
2. ON/OFFボタン[4]を押します。これにより、ディスプレイ[1]がオンになり、電源インジケータ[3]がオフになり、D2ユニットが運転モードであることを示します。

### 注意

特別な設定を有効にすることにより、D2ユニットは、電源ケーブルが接続されたとき、直接操作できます。詳細は、16ページを参照してください。

## 電源オフ

1. ON/OFFボタン[4]を押します。
2. 電源ケーブルを外してください。

D2ユニットのスイッチをオフにすると、現在の設定が保存され、ユニットのスイッチが再度オンになったときに適用されます。

## 光量の出力(エネルギーレベル)

フラッシュライトの出力は、相対fストップスケールのディスプレイ[1]に表示されます。最大エネルギー(100%)を10として表示されます。

ダイヤル[5]は、フラッシュライト出力(エネルギーレベル)を調整するために使用されます。

- ・ ダイヤルを時計回りに回すと出力が1/10fストップずつ上がり、反時計回りに回すと下がります。
- ・ ダイヤルを押したまま時計回りに回すと、出力が1fストップずつ上がり、反時計回りに回すと下がります。

光量の出力設定はまた、オプションのAir Remote TTL、Air Remote、またはAir USBで行うこともできます。

フラッシュライトの出力は、オプションのAir Remote TTLのあるTTLモードで撮影するとき自動的に設定されます。

## モデリングライト

モデリングボタン[2]を使用して、モデリングライトをオン/オフします。

以下の3つのモデリングライトの設定のオプションがあります。

- ・ MAX(最大): 選択したエネルギーレベル(光の出力)に関係なく、モデリングランプは最大の出力になります。
- ・ PROP(比例): モデリングライトの出力は、選択したエネルギーレベル(光量の出力)に比例して自動的に調整されます。
- ・ FREE(フリー): フラッシュライトのエネルギーレベルに関係なく、手で自由にモデリングライトの出力を設定します。

## 同期

D2ユニットは、ワイヤレス同期(無線/IRスレイブ/フォトセル)、およびケーブルにより同期できます。ケーブルによる同期は、同期の設定にかかわらず、常に可能です。

以下の3つの同期設定のオプションがあります。

- ・ AIR: 内蔵Profoto Airトランシーバーが有効化されています。D2ユニットは、オプションのProfoto Airトランシーバーのいずれかからトリガーおよび/または制御するよう設定されます。

- ・ SLAVE:内蔵IRスレイベ/フォトセル[15]が有効化されます。フラッシュは、別のフラッシュが発光するか、またはIR信号が検出された場合、スレイベ同期します。
- ・ OFF (オフ):D2ユニットは、別売のシンクロケーブルを介してのみ同期できます。

## Air(およびTTL)操作

AIRの同期設定により、D2ユニットは、オプションのProfotoAirトランシーバーのいずれかからトリガーおよび/または制御するよう設定されます。

Air操作のためにD2ユニットを準備するには、以下を行ってください。

1. SETTINGS (設定) ボタン[6]を押して、設定メニューを表示します。
2. Airを有効化するには、以下を行います。
  - a. SYNCがハイライト表示されるまで、ダイヤル[5]を回します。
  - b. ダイヤル[5]を押したままにすると、SYNC設定メニューが表示されます。
  - c. ダイヤル[5]を押しながら、AIRがハイライト表示されるまで、ダイヤル[5]を回します。
  - d. ダイヤル[5]を離して、AIR設定を選択します。
3. 無線チャンネルを変更するには、以下を行います。
  - a. CHANNELがハイライト表示されるまで、ダイヤル[5]を回します。
  - b. ダイヤル[5]を押したままにすると、CHANNEL設定メニューが表示されます。
  - c. ダイヤル[5]を押したまま、ダイヤル[5]を回して、チャンネルを変更します。
  - d. ダイヤル[5]を離して、現在ハイライト表示されているチャンネルを選択します。
4. 無線グループを変更するには、以下を行います。
  - a. GROUPがハイライト表示されるまで、ダイヤル[5]を回します。
  - b. ダイヤル[5]を押したままにすると、GROUP設定メニューが表示されます。

- c. ダイヤル[5]を押したまま、ダイヤル[5]を回して、グループを変更します。
- d. ダイヤル[5]を離して、現在ハイライト表示されているグループを選択します。

### 注意

設定可能な8つのさまざまなチャンネル(1~8)があり、それぞれのチャンネルに6つのグループ(A~F)があります。同じチャンネルに設定されたすべてのライトは、同時に同期されます。グループは、設定が2つ以上のライトで行われた場合、個々のライトまたは同じチャンネルのライトのグループを遠隔操作するために使用されます。TTL機能は、グループA~C内でのみ有効にできます。

D2ユニットは、Profotoが提供するすべての利用可能なAirの付属品に対応しています。これには以下の表に記載されているものが含まれます。(操作説明は、各付属品のユーザーガイドを参照してください。)

オプションのProfoto Airの付属品	D2との組み合わせで使用可能な機能			
	フラッシュ同期	リモートコントロール	TTL(自動調光)	HSS(ハイスピードシンクロ)
Air Remote TTL/A1/A1X/Connect*	X	X	X	X
Air Remote**	X	X		
Air Sync**	X			
Air USB***		X		

\* オプションのカメラマウントトランシーバー。TTL対応のカメラについては、Profoto.comをご確認ください。

\*\* オプションのカメラマウントトランシーバー。

\*\*\* Profoto Airソフトウェアを使用するためのUSB機器。

## スレイブ同期操作

SLAVE同期設定により、D2ユニットは、フラッシュの発光およびほとんどの赤外線同期送信機からの赤外線信号を感知することができます。

スレイブ同期を有効化するには、以下を行います。

1. SETTINGS (設定) ボタン[6]を押して、設定メニューを表示します。
2. SYNCがハイライト表示されるまで、ダイヤル[5]を回します。
3. ダイヤル[5]を押したままにすると、SYNC設定メニューが表示されます。
4. ダイヤル[5]を押しながら、SLAVEがハイライト表示されるまで、ダイヤル[5]を回します。
5. ダイヤル[5]を離して、SLAVE設定を選択します。

## ケーブル同期操作

ケーブルによる同期はすべての同期モードで可能です。カメラまたはフラッシュメーターからのシンクロケーブルをシンクロコネクター[14]に接続します。

## チャージ完了インジケータ:

チャージ完了信号はD2ユニットが完全に充電されていることを示すものです。

充電完了音は次の4種類から選択できます。

- ・ BEEP (ビープ音) : 充電完了をビープ音で通知します。
- ・ DIM (画面点灯) : モデリングライトは、フラッシュの後、オフになり、D2ユニットが再度フラッシュの準備ができると、オンになります。この設定はまた、コントロールパネルの操作音を無効にします。
- ・ BEEP DIM (ビープ音・画面点灯) : モデリングライトは、フラッシュの後、オフになります。モデリングライトは、再度フラッシュの準備ができると、オンになり、D2ユニットはビープ音で通知します。
- ・ OFF (オフ) : 充電完了音や通知を発生しません。この設定はまた、コントロールパネルの操作音を無効にします。

白色のチャージ完了ランプ[7]は、フラッシュの後、常にオフになり、D2ユニットが完全に充電されると、再度オンになります。

## Normal (通常) / Freeze (フリーズ) モード

D2ユニットは、2つのモードで操作でき、さまざまな撮影状況で用途を最大化できます。

- ・ Normal (通常) モード: 出力範囲全体にわたる色温度の安定性のために最適化されます。ほとんどタイプの撮影に最高のオプションです。
- ・ Freeze (フリーズ) モード: 閃光時間が優先されます。迅速なアクションをフリーズさせる撮影に最適です。色温度が変わり、多少青みがかかる可能性があります。

### 注意

HSS (高速同期) が有効になると、通常/フリーズモードのオプションは無効になります。HSSに関する詳細は、17ページを参照してください。

## 誤った露出のアラーム

D2ユニットが完全にチャージされる前にフラッシュが発光された場合、長い「ピープ音」が鳴ります。このアラームは、フラッシュライトが設定された数値に完全に対応していないことを示しています。設定したライトの出力を満たしていない場合でも、D2ユニットは常にフラッシュします。瞬間の把握が完璧であった場合、画像は使用可能である場合があるためです。

チャージ完了信号がDIMまたはOFFに設定されているときは、誤った露出のアラームが部分的に無効になります。この場合、D2ユニットがTTLの操作で使用され、シークエンス撮影でカメラについていけない場合、長いピープ音のみがあります。

## クイックバースト

クイックバーストは、光の出力を失うことなしに、D2ユニットが充電されるよりも速いペースで一連 (バースト) のフラッシュの発光を可能にします。この機能は、出力がフル出力未満に設定されたときの有効になります。バーストの長さ、フラッシュの数は、繰り返しの速さと設定した光の出力により異なります。設定した光の出力が低いほど、トリガーされるバーストは長くなります。この機能のおかげで、D2ユニットは、より低い電力で、誤った露出のアラームをトリガーすることなく、1秒当たりに複数のフラッシュをトリガーできます。クイックバーストが有効な場合、出力精度は多少低くなることに留意してください。クイックバーストは、点滅するエネルギーレベルの設定により示されます。

## 充電完了ランプ/テスト機能

充電完了ランプとテストボタン機能は一体化しています。

D2ユニットの充電が完了し、フラッシュの発光が可能になると白色の充電完了ランプ[7]が点灯します。

テストボタン[7]は、ライトの設定をテストするために使用されます。テストボタン[7]を押して、フラッシュを発光します。D2ユニットは、フラッシュ発光し、充電完了ランプ[7]は、ユニットの充電中はオフになります。充電が完了すると、充電完了ランプ[7]が再び点灯します。

## 特別設定

特別設定を変更するには以下の手順に従います。

1. 特別設定メニューが表示されるまで、SETTINGS (設定) ボタン[6]を3秒間押したままにします。
2. ダイヤル[5]を回して、変更する設定を選択します。
3. ダイヤル[5]を押したままにして、選択した設定に利用できるオプションを表示します。
4. ダイヤル[5]を押したまま、ダイヤル[5]を回して、設定のオプションを変更します。
5. ダイヤル[5]を離して、現在ハイライト表示されている設定のオプションを選択します。
6. SETTINGS (設定) ボタン[6]を押して、メインメニューに戻ります。ディスプレイは、数秒後に自動的にメインメニューに戻ります。

## ディスプレイの向き

設定ディスプレイの向きは、ディスプレイの情報を180°回転させます。これは、D2ユニットが逆さまに取り付けられた場合、役に立ちます。

## 自動オンモード

D2ユニットを操作するには、通常電源ケーブルを接続してから、ON/OFF ボタン[4]を押します。自動オンモードを有効にすることにより、D2ユニットは、電源ケーブルが接続されたとき、直接操作できます。

## スピード

低減したりサイクル速度は、D2ユニットが弱い電源ネットワークまたは機器 (Profoto BatPacなどのバッテリーインバーターなど) に接続されているときに有効にする必要があります。

## 自動安全機能

D2ユニットには、効率的な冷却および安全システムが搭載されています。内蔵されたファンは、内部の温度と冷却のニーズを満たすよう、自動的に速度を調整します。ファンは、ユニットが操作モード（電源インジケータ [3] が赤色）でないときでも回る場合があります。

D2ユニットが異常な外部の影響に晒された場合、保護システムが破損しないようD2を自動的に保護します。保護システムにより、チャージ間隔が長くなり、最終的にチャージが完全に停止します。保護システムはまた、モデリングライトをオフにする場合があります。この自動保護は、高い環境温度などの極端な状況下か、または通気孔がブロックされている場合のみ作動します。温度が十分に下がったとき、ユニットは、通常のペースでチャージを開始します。

### 注意

ユニットの通気孔を塞いだり、覆ったりしないでください。ケースや持ち運び用ボックスなどの小さな密封された空間で装置を操作しないでください。通気がないことにより、ユニットの寿命が短くなる可能性があります。暑くて日差しの強い日の車内など、ユニットを異常な温度の場所に放置しないでください。ユニットを零下や零度に近い低気温の場所に保管しないでください。ユニットを冷たいまま使用すると、正常に作動しなかったり、故障して、本来の能力（フラッシュ出力）を失う場合さえあります。また、寒い場所から暖かい場所にユニットを移動した場合に内部に結露が発生し、故障のリスクが生じます。どんなフラッシュ装置も高湿度の環境、水気の多い場所、または強力な電磁波が発生する場所で使用しないでください。

## 取扱い

### スタンドの取り付け

1. スタンドアダプター[12]をライトスタンドに適合させ、クランプねじ[13]で固定してください。
2. D2ユニットは、チルトロックノブ[11]を緩めると上下に向くように動かせます。ユニットが正しい向きになったら、チルトロックノブ[11]を締めて固定してください。

### Profotoライトシェーピングツールの取り付け

D2ユニットには、高出力で、幅広くて、均一の光の拡散を生み出す内蔵リフレクターがあります。また、D2ユニットは、120以上のライトシェーピングツールに対応しており、これは、すでに美しいライトをユーザーが想像できるほとんどあらゆるライトに形作るために使用できます。

D2ユニットは、OCFライトシェーピングツールには対応していないことに留意してください。それらはLEDライトによるフラッシュ向けに設計されており、D2内で使われているような高温ハロゲンモデリングバルブによるフラッシュ向けではありません。

### 標準的なリフレクターマウントがあるすべてのツール(留め具のあるラバー製カラー)

ほとんどのリフレクターにはProfoto(プロフォト)の独自のクランプ機構が搭載されており、これにより、リフレクターの搭載が容易になり、ズームスケール[9]に沿って、リフレクターを前後にスライドさせるだけで、光を形作ることができます。

1. 外付けリフレクターの留め具をロック解除してください。
2. リフレクターをD2ユニット上にスライドさせてください。ズームスケール[9]を使って、リフレクターを置きたい位置まで動かします。
3. 留め具をロックしてリフレクターを固定してください。

### アンブレラの取り付け

アンブレラは、アンブレラホルダー[8]内にアンブレラのシャフトをスライドさせることにより、容易に取り付けることができます。アンブレラのシャフトの直径は、適合するためには、7 mm~8 mmである必要があります。アンブレラを使用する場合、外部のリフレクターを同時に取り付けることはできません。

1. D2ユニットのアンブレラホルダー[8]にアンブレラのシャフトをスライドさせてください。
2. 数センチ入ったところで、摩擦が大きくなります。アンブレラホルダー[8]にさらに数センチアンブレラのシャフトをスライドさせます。

## フロントガラスプレートの交換

フロントガラスプレート[10]は、オプションのフロントガラスプレートまたはドーム型ガラスカバーと交換できます。ドームは、Profoto(プロフォト)のいずれかの「ズーム可能な」リフレクターを使用している場合、「ズーム効果」を向上させるために使用できます。

1. **重要:**D2ユニットの電源が切れていること、電源ケーブルが抜かれていることを確認してください。
2. **重要:**ユニットを使用した直後は、ユニットが完全に放電され、冷却されるまで5分間待ってください。
3. フロントガラスプレート[10]を固定しているスプリングを左右にゆっくりと押すことにより、ガラスをゆっくりと取り外します。
4. 新しいフロントガラスプレート(曇っている側が内側)またはガラスドームを所定の位置に慎重に適合させます。ガラスを保持しているスプリングを所定の位置に戻し、フロントガラスまたはガラスドームをしっかりと保持していることを確認してください。

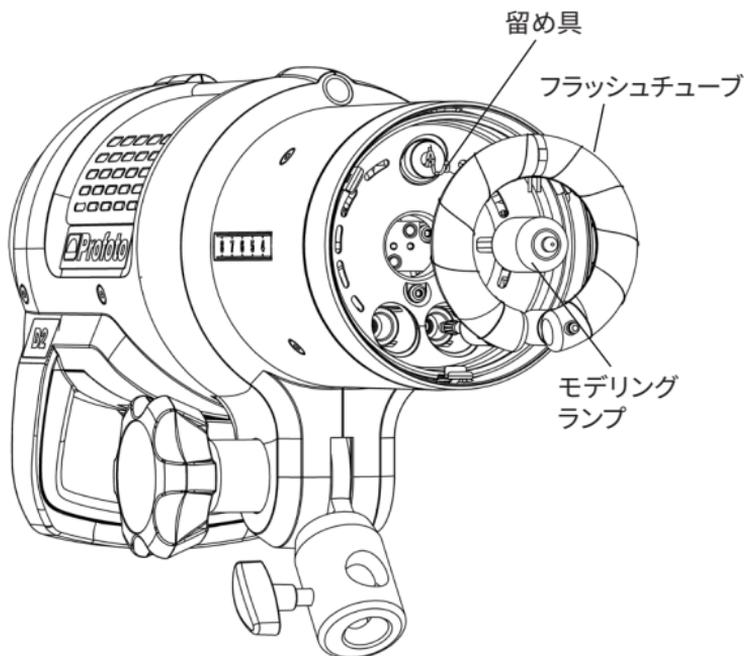
## フラッシュチューブおよび/またはモデリングランプの交換

注意:

素手でフラッシュチューブとモデリングランプに触れないでください。

1. **重要:**D2ユニットの電源が切れていること、電源ケーブルが抜かれていることを確認してください。
2. **重要:**ユニットを使用した直後は、ユニットが完全に放電され、冷却されるまで5分間待ってください。
3. フロントガラスプレート[10]を固定しているスプリングを左右にゆっくりと押すことにより、ガラスをゆっくりと取り外します。
4. フラッシュチューブの交換:
  - 留め具の周りのステンレススチール製リボンを緩めて、フラッシュチューブのトリガーをロック解除してください。
  - フラッシュチューブの下の部分を持ち、まっすぐにソケットから抜き出します。

- 新しいフラッシュチューブを差し込む際は、トリガーの接続留め具がフラッシュチューブに適切に巻きついていることを確認してください。
  - 留め具の周りのステンレススチール製リボンを締めてフラッシュチューブのトリガーをロックしてください。
5. モデリングランプの交換:
- ソケットからまっすぐにランプを引き抜いてください。
  - 新しいモデリングランプをまっすぐソケットに差し込んでください。
6. 曇った面が内側になるように、慎重にフロントガラスプレート[10]をはめてください。ガラスを保持しているスプリングが所定の位置に戻っており、フロントガラスプレートをしっかりと保持していることを確認してください。



## 内蔵フューズの交換

1. D2ユニットの電源が切れていること、電源ケーブルが抜かれていることを確認してください。
2. ユニットを使用した直後は、ユニットが完全に放電され、冷却されるまで5分間待ってください。
3. フューズホルダー[17]をユニットから引き抜き、古いフューズを外してください。
4. 新しいフューズを最後までフューズホルダー[17]に押し込んでください。推奨フューズ以外は使用しないでください。推奨フューズは技術資料を参照してください。
5. フューズホルダー[17]をカチッと音がするまで静かに押入れ、所定の位置にはめてください。

## 追加情報

### HSS

D2ユニットは、オプションのAir Remote TTLトランシーバーのいずれかとともに使用する場合、HSS (高速同期) をサポートします。HSSにより、カメラの最速外部フラッシュ同期速度 (x-sync) よりも高速なシャッター速度でフラッシュ撮影が可能になります。HSS は、環境光が明るい場合に便利です。

HSSは、D2ユニット上ではなく、Air Remote TTL (キャノンなど) またはカメラメニュー (ニコンなど) のいずれかで選択します。HSSモードの使用時は、MODE設定は、D2ディスプレイ[1]上でHI-Sを示します。

### 注意

- HSSを頻繁に使用すると、D2フラッシュチューブの寿命に影響が出ます。
- HSS機能を使用するには、Air Remote TTLではファームウェアの更新が必要な場合があります。最新のアップデートと対応するカメラの一覧については、[profoto.com/myprofoto](http://profoto.com/myprofoto)にアクセスしてください。パーソナルアカウントを作成してログインし、新しいすべてのアップグレードをご利用ください。

### TTL

D2ユニットは、オプションのAir Remote TTLトランシーバーのいずれかとともに使用する場合、TTLをサポートします。カメラのホットシューにマウントしたTTLリモートを使って、マニュアル計測なしに、完全に自動的にカメラにフラッシュ出力を制御させることができます。

TTLはD2上ではなく、リモートで選択されます。カメラがフラッシュの出力がD2ユニットの範囲外であることを要求する場合、ディスプレイ[1]は点滅します。充電信号がBEEPまたはBEEP DIMに設定されている場合、長いビープ音も鳴ります。

フラッシュの出力がカメラにより自動的に設定されるたびに、インジケータのAUTOがD2ディスプレイ[1]に表示されます。インジケータは、リモートからTTLフラッシュコマンドを受信した後、15秒間表示されます。

オプションのAir Remote TTLトランシーバーの詳細と互換性のあるカメラ一覧については、[Profoto.com](http://Profoto.com)にアクセスしてください。

## 色温度

D2にはお買い上げ時に曇りガラスプレートが付属します。フラッシュチューブと組み合わせて使用することで、明るい状態向けの推奨される色温度を作り出すことが可能です。さまざまな表面コーティングを施されたガラスカバーを使用することでさまざまな色温度に調整できます。

## USBポート

MicroUSBポート[16]は、D2ユニットのファームウェアのアップグレードに使用します。ポートは、ユニットを制御するために使用できません。

## ファームウェアのアップグレード

新しいD2ユニットを使い始める前に、ファームウェアのアップグレードを確認することをお勧めします。

最新の無料アップグレードを利用するには、[profoto.com/myprofoto](http://profoto.com/myprofoto)でパーソナルアカウントを作成します。アカウントを作成して製品登録を行うと、新しいファームウェアが公開されたときに通知を受け取れます。

ファームウェアのアップグレードは、D2ユニット上のMicro USB ポート[16]を介して行います。[profoto.com/myprofoto](http://profoto.com/myprofoto)からダウンロードしたアップグレード適用の指示に従ってください。Profoto 正規販売店に連絡すれば、いつでも専門サービスを受けられます。

ファームウェアの確認手順：

1. D2ユニットを電源に接続します。
2. 電源インジケーター[3]が赤色であることを確認します。
3. SETTINGS (設定) ボタン[6]を押したまま、ONボタン[4]を押します。
4. 現在のファームウェアバージョンがディスプレイ[1]に表示されます(例:A7など)。

## 技術仕様

	1000	500
エネルギー	1000 Ws	1000 Ws
エネルギー範囲	10fストップ (2-1000 Ws)	10fストップ (1-500 Ws)
エネルギーコントロール増分	1/10または1fストップ	1/10または1fストップ
リサイクル時間	0.03~1.2 s	0.03~0.6 s
クイックバースト	最大20フラッシュ/s	最大20フラッシュ/s
閃光時間(ノーマルモード) (t0.5)	1/1,600 s (1000 Ws) - 1/11,000 s (2 Ws)	1/2600 s (500 Ws) - 1/17000 s (1 Ws)
閃光時間(フリーズモード) (t0.5)	1/1,600 s (1000 Ws) - 1/50,000 s (2 Ws)	1/2,600 s (500 Ws) - 1/63,000 s (1 Ws)
エネルギーの安定性(通常モード)	± 1/20 f-stop	± 1/20 f-stop
エネルギーの安定性(フリーズモード)	± -1/20 f-stop	± 1/20 f-stop
色温度安定性(通常モード)	± 150 K(オーバーレンジ)。 ± 20 K(フラッシュ間)	± 150 K(オーバーレンジ)。 ± 20 K(フラッシュ間)
色温度安定性(フリーズモード)	± 1200 K(オーバーレンジ)。 ± 20 K(フラッシュ間)	± 1200 K(オーバーレンジ)。 ± 20 K(フラッシュ間)
モデリングランプ	最大300 W(ハロゲン)	最大300 W(ハロゲン)
モデリングライトモード	最大、比例、フリー、オフ	最大、比例、フリー、オフ

ガイド番号 @2m、マグナムリフレクタによる100ISO	648/10	458/10
入力電源	100-127V/200-240V、50/60 Hz (公称)	100-127V/200-240V、50/60 Hz (公称)
ヒューズの要件	6A/230V、10A/120V	6A/230V、10A/120V
同期モード	Air/IR/Syncケーブル	Air/IR/Syncケーブル
寸法(縦x横x高さ)	31x13x18 cm (12.2x5.1x7.1 in)	31x13x18 cm (12.2x5.1x7.1 in)
重量	3.4 kg (7.5 lbs)	3.0 kg (6.6 lbs)
動作温度	+10 C ~ +35 C (低下したパフォーマンスで-10 C ~ +50 C)	+10 C ~ +35 C (低下したパフォーマンスで-10 C ~ +50 C)
保管温度	-20 C ~ +60 C	-20 C ~ +60 C
周波数帯	2.4 GHz (2404 ~ 2479.3 MHz)	
周波数チャンネル数	20 (1-20)	
無線電力出力	最大 9.9 dBm	

すべてのデータは公称値であり、予告なしに変更される場合があります。

## 保証

Profoto (プロフォト) 製のジェネレーターおよびフラッシュヘッドはすべて出荷前に個別検査されており、発光管、ガラスカバー、モデリングランプ、ケーブルを除いて 2 年間の製品保証が付属します。ただし現地の法令によっては製品保証が異なります。プロフォトでは、誤使用または他社製品の使用による技術的不具合について責任を負いません。何らかの技術的問題がある場合は、Profoto (プロフォト) 認定修理センターにお問い合わせください。

## 規制情報

### 各国における無線周帯の使用

Profoto Air システムは、ライセンスフリーの SRD (ショートレンジデバイス) 用 2.4 GHz ISM 帯で作動します。この帯は、世界のほとんどの場所で使用できます。ただし、地域的な制約が適用される場合があります。

#### 注意

Profoto Air Sync または Profoto Air Remote トランシーバーを使用する地域の国別規制を参照し、準拠していることを確認してください

### 米国およびカナダ

#### プロフォト株式会社

トランスミッター / レシーバー

モデル: Profoto D2 500 AirTTL, Profoto D2 1000 AirTTL

製品番号: PCA1361-0000、PCA1362-0000

以下の FCC ID が含まれています。W4G-RMI3

および IC: 8167A-RMI3

スウェーデンにて設計、タイにて製造

### 責任当事者 - 米国お問い合わせ先

#### Profoto US

Profoto US

220 Park Ave

Suite 120

Florham Park NJ 07932

+1 973-822-1300

us-info@profoto.com

### FCC およびカナダ産業省

コンプライアンス声明 (パート 15.19) 本装置は、FCC 規則のパート 15 およびカナダ産業省の RSS-210 に準拠しています。

操作は次の 2 つの条件に従います:

1. 本装置は有害な干渉を起こすことはありません、
2. 本装置は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した任意の干渉を受け入れることがあります。

認証/登録番号の前にある用語「IC」は、カナダ産業省の技術仕様が満たされていることを示します。

Ce dispositif est conforme aux normes RSS-210 d'Industrie Canada. L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :

1. il ne doit pas produire de brouillage et
2. l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

Les lettres 'IC' n'ont aucune autre signification ni aucun autre but que d'identifier ce qui suit comme le numéro de certification/ d'enregistrement d'Industrie Canada.

### **警告 (パート 15.21)**

コンプライアンスに責任を負う当事者が明らかに承認されていない変更や修正を行った場合は、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

### **FCC 無線周波数暴露**

警告: Profoto D2 装置は、米国 FCC 無線周波数暴露限度以下のレベルで無線周波数エネルギーを放射します。しかしながら、本装置は正常な操作中に人間と接触する可能性が最小化されるような方法で使用されなければなりません。携帯での操作については、本装置は試験済で、装置が身体から最低1.0 cmの位置にあるときFCC RF暴露ガイドラインを満たします。

### **IC RF 暴露限界**

Profoto D2 装置は、制御されていない環境に対して定められた IC RSS-102 放射線暴露限度に準拠しています。携帯での操作については、この装置は試験済みで、装置が身体から最低1.0 cmの位置にあるときIC RF 暴露限度を満たします。

### **Limites d'exposition RF IC**

Le dispositif Profoto D2 est conforme aux limites sur l'exposition aux rayonnements IC RSS-102 définies pour un environnement non contrôlé. En mode manuel, ce dispositif a été testé et respecte les limites d'exposition IC RF lorsque ce dernier est placé à au moins 1 cm du corps.

## 日本

日本の電波法。本装置は、日本の電波法（電波法）に従って認可されています。本装置には改造を加えないでください。改造を加えた場合、付与された表示番号は無効となります。



R 202-SMH035

PGM0008-0000 A2

テクニカルデータおよび製品情報は予告なしに変更されることがあります。  
344099.2019年12月スウェーデンで印刷

プロフォト株式会社  
Box 1264,  
17225 Sundbyberg  
Sweden

+46 (0) 8447 53 00  
info@profoto.com  
www.profoto.com

